



福島小学校だより

ふくしま

No. 4
 令和8年6月30日



ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

1 学期も残すところあと3週間

校長 嶋田 暢也

早いもので、明日からは7月。1学期は残すところ3週間となりました。6月は児童会の集会、キッズサポートスクール（2・5年）、地震・津波を想定した平井中央公園への避難訓練、交通安全教室（1・3年）、水泳の授業と色々な学びの機会がありました。水泳の授業では、始まった当初は気温があまり高くならなかったため、「寒い」と感じる子が多かったです。

このお便りを書いている6月29日（月）は、「暑く」なってくれたおかげで、児童が「今日は水泳するにはちょうどいいわ。」と言っているのを聞くことができました。私も今日は水泳の指導（というよりは溺れている子がいないかの監視ですが）のため、プールに行きましたが、プールの水が気持ち良かったです。



先生たちは、個人懇談会、通知表作成のために一生懸命に仕事をしています。個人懇談会が、皆さんの1学期の頑張りや成長、そして2学期に向けての課題を保護者の皆さんとお話しさせてもらい、児童の皆さんにフィードバックできるような貴重な機会としたいと思います。

7月及び2学期の学校行事です

7月	8月	20（火）21（水）加太合宿（5年）
2（木）多文化共生講座（5・6年）	25（火）2学期始業式	22（木）喫煙防止教室（3年・5年）
3（金）花王 社会見学（3年）	26（水）27（火）28（金） 夏休み作品展	23（金）運動会振替休業日
6（月）集金 引き落とし	28（金）スクールカウンセラー来校	31（土）土曜参観 秋フェス
7（火）出張まなび講座（なかよし学級）	31（月）ALT	11月
8（水）青岸クリーンセンター見学（4年）	9月	2（月）土曜参観振替休業日
13（月）14（火）16（木） 個人懇談会 短縮校時 12：45 下校	11（金）スクールカウンセラー来校	10（金）遠足（1・2・3・4・年）
15（水）ALT 通常校時	25（金）スクールカウンセラー来校	19（木）ALT
17（金）1学期終業式 10：30 下校	28（木）日本製鉄見学（5年）	20（金）スクールカウンセラー来校
	10月	26（木）緑育体験（5年）
	2（金）ALT	12月
	6（火）ALT	11（金）スクールカウンセラー来校
	9（金）スクールカウンセラー来校	15（火）16（水）修学旅行（6年）
	17（土）運動会	23（水）ALT
		24（木）2学期終業式

今年度1月以降の主な行事予定（変更することもあります。ご了承ください。）

- ・ 1月6日（水）3学期始業式
- ・ 2月25日（木）6年生を送る会
- ・ 3月17日（水）お別れ式、卒業証書授与式
- ・ 3月24日（水）3学期終業式
- ・ 3月31日（水）離任式

勉強について語らせていただきます

このタイトルをご覧になって「校長先生いきなりどうしたの？」と不思議に思われた方が多いと思います。実をいうと家庭訪問で保護者の方とお話したことの報告を受ける中で、保護者の中で勉強への意識が高い方が少なからずいらっしゃるのことがわかってきました。これは私の本領発揮のチャンスと感じたので、皆さんに少しでも良い情報を提供できればと思い、お話をさせていただきます。

実をいうと前任校で、私は「なぜ勉強しないといけないのか」、「学校の勉強が私たちの生活そして将来においてどのように役に立つのか」という疑問に対して、良い情報を中学生に提供しようと研究を重ね、中学生やその保護者に語ってきました。自慢に聞こえてしまうので恐縮ですが、涙を流しながら私の話を聞いてくれる中学生、保護者がいました。保護者の中には、私が保護者用の講演に使用したスライドだけでも分けて欲しいとリクエストをしてくれた方もいました。「頼まれごととは試されごと」という名言がありますが、私は「その人の期待や予想を超える行動を相手に提供すること」を大切にしたいので、その保護者のリクエストに応じて、その時にお話した内容を動画として作成し、YouTubeチャンネルに保護者限定で公開しプレゼントさせてもらったことがあります。保護者の中には、「自分が苦しい時や行き詰った時にはその動画を何度も見直しています。」とうれしい言葉を言ってくれた方もいます。

前置きが長くなりましたが、その内容を限られたスペースであるので、十分な内容ではないかも知れませんが、小学生とその保護者向けに紹介させていただきます。

1.「なんで勉強しないといけないの？」への本当の答え

ご家庭で、子どもたちから「どうして勉強しなきゃいけないの？」と聞かれたことはありませんか？ つい「将来困るから」「良い学校に入るため」と答えてしまいがちですが、勉強の本当の目的は別のところにあります。今回は、子どもたちの未来の幸せに繋がる「勉強の意味」について紹介します。

（1）勉強は「誰かを幸せにするため」の準備

ある調査では、同じ大学を卒業して同じ会社に就職していても、「今、幸せです」と笑う人と、「不幸せだ」と残念そうに言う人に分かれることが分かっています。

その違いは、心の矢印（ベクトル）の向きにありました。

- ・ 自分のためだけに頑張ってきた人 = 満足感が得られにくい
- ・ 人の役に立ちたい、喜ばせたいと願う人 = 信頼され、本当の幸せを感じられる

人の役に立ったり喜ばせたりするためには、高い人間性とたくさんの知識や技能が必要となります。つまり勉強とは、「将来、たくさんの人の役に立ち、喜んでもらえる自分になる、つまり幸せな人生を送るため」の準備期間なのです。



（２）勉強は何の役に立つ？～コップの水が「特別なもの」に変わる～

東大を卒業したあるお母さんが、子どもに「勉強の意味」をコップの水を使って教えた素敵な話を紹介します。何も学ばなければ、それはただの「水」です。しかし、学校でたくさんの教科を学ぶと、世界を見るレンズの数が増えていきます。

- ・ 算数：「200 ミリリットル」という数字で見える
- ・ 理科：「水素と酸素」でできていると知る
- ・ 社会：世界には綺麗な水が飲めない人もいと想像できる
- ・ 道徳：水を誰かと分かち合う優しさを学ぶ



国語、音楽、図工、体育……すべての教科が、世界をより深く、美しく見るための「大切なレンズ」になります。勉強をすることで、目の前にある当たり前の日常が、何倍も豊かで感動的なものになっていくのです。

（３）目の前のことに「誠実」に取り組む

我が子には、自分が本当にやりたいことを見つけ、そのことを通して誰かに感謝される最高に幸せな人生を歩んでほしいものですね。そのための「自分の得意なことや特性」は、算数で難しい文章問題を解くなどの思考力についての脳、音楽を作曲したり、きれいな絵を描いたりすることの創造力についての脳、素敵な文章を書く表現力についての脳など、様々な勉強を通して磨き上げてこそわかるもの。そのためには、今、目の前にある宿題や学校の授業、委員の仕事や掃除・給食当番の仕事など、あらゆることに一生懸命取り組む中でしか見つかりません。勉強することは、世の中の見え方が豊かになり、脳の性能が向上し、智慧が身につく、人間性が高まることにより、未来を切り拓く「お子様自身の四次元ポケット」を備えることにつながるのです。今日からぜひ、お子様が宿題を頑張っているときには、「未来の誰かをハッピーにする道具を増やしているんだね」と、温かく声をかけてあげてください。

未来を切り拓く「四次元ポケット」を備える



２．テストの点数より大切なこと：子どもの自信を育む向き合い方

お子さんのテストの点数に一喜一憂していませんか？ つい「もっと勉強しなさい！」と口走ってしまうのは、多くの親御さんの「あるある」です。

今回は、テストを通してお子さんのやる気と自信を育むためのヒントを紹介します。

（１）テストは「ゴール」ではなく「健康診断」

テストの点数はすべてではありません。その時点での理解度を知るための有効なツールです。

- ・ 中身の確認：どこを理解していて、どこでつまづいたかを見ます。
- ・ 作戦会議：できなかったことをどう克服するか親子で話し合います。
- ・ 本来の目的：テスト勉強は点数のためではなく、単元の理解が目的です。

（２）結果より「プロセス（過程）」に注目

結果が出てから叱るのではなく、テストを受けるまでの頑張りを見守りましょう。

- ・ 努力の承認：点数が振るわなくても、机に向かった姿勢を褒めます。
- ・ 心のケア：一番ショックを受けているのはお子さん自身です。
- ・ 親の否定：親が否定するのをやめるだけで、子どもの心は安定します。

💡【実践】心に届く「褒め方」のコツ

- ・ NG 例：「100 点なんてすごいね！」（結果だけを褒める）
- ・ OK 例：「毎日ドリルを頑張ったから、計算ミスが減ったね！」（過程を褒める）
- ・ OK 例：「漢字の練習を丁寧にやった成果が出たね！」（努力を褒める）



「過程」や「努力」を褒めることを「承認」と言います。褒められた（承認された）子どもは、安心して次の活力に変えることができます。

※ 研究の結果から、結果だけを褒められた子は、次に何かに取り組む時は簡単でできてしまう問題にしか挑戦しないそうです。できなければ認めてもらえないからです。その子には成長は期待できません。過程や努力を褒められた子は、難しい、自分を成長させてくれる難題に挑戦するそうです。それは、結果ではなく挑戦しようとした過程や努力を認めてもらえるからです。その子は大いに成長するそうです。

（４）メッセージ：テストは「親子で成長するチャンス」

結果を責めるのではなく、「次はどうしようか？」と前向きに一緒に作戦を練りましょう。数字の裏側にある、お子さんの小さな努力をぜひ見つけてあげてくださいね。